

12 燦 KIRARI

作大・作短がいっぱい詰まった広報紙

2014 11 月号
Vol.12
平成26年11月8日発行

- HEADLINE** : [01] サッカーグラウンド人工芝化／しもつき会ランチョンミーティング
[02] 公開講座／グループワークキャンプ／作新祭のご案内
[03] キャリア探検隊[トヨタウッドユーホーム(株)]／キャリア・就職支援課だより
[04] 教育実践センター／キラッとキャンパス～学生課情報～／イベントスケジュール

発行
作新学院大学
作新学院大学女子短期大学部
〒321-3295 栃木県宇都宮市竹下町908
電話 028-667-7111
FAX 028-667-7110
編集兼発行人 西田 直樹
編集
地域協働広報センター

お電話相談窓口はこちら
大学・短大 TEL028-670-
総務課(総務関係・施設貸出) 3600
会計課(学納金・経費支払等) 3621
施設課(建物・施設管理) 3631
入試・広報課(受験相談・資料請求) 3655
教務課(定期試験・各種証明書発行) 3642
学生課(奨学金・学生生活相談) 3641
キャリア・就職支援課(求人募集・就職についての相談) 3645
図書課(図書等の所蔵・貸し出し) 3652
学修支援室(学習サポートワーク・情報機器の管理) 3616
地域協働広報センター(大学付属研究所) 3614



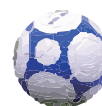
米山 篤志氏
栃木県出身
東京23FC監督
元サッカー日本代表選手
作新学院大学客員教授

真剣なサッカー大好き小学生！
未来のプロサッカー候補生たち

TOP NEWS

サッカーグラウンド人工芝化

地域に開かれたグラウンド



本学では、サッカーの普及・発展に寄与するためにサッカーグラウンドに人工芝を敷設しました。人工芝化を図ることで、本学サッカー部のトレーニング環境を充実させるとともに、「地域に開かれたグラウンド」として多くの人々に良い環境を提供することが可能になりました。

10月13日には、県内サッカー関係者を招待し、竣工式を行いました。式典後には、元サッカー日本代表の米山篤志氏が講演し、スポーツマネジメント学科の学生に「頭を鍛えて成長し続けること」の重要性を説きました。人工芝グラウンドでは米山氏による小学生向けのサッカー教室も行われました。

今後、このグラウンドは、学生が授業や課外活動で使用するだけでなく、本学と連携協定を締結した栃木SCのユースが練習するなど、非常に多くの若者が利用します。ここで活動した人たちが、スポーツの価値を深く理解し、その価値を社会に発信していく、そうした「スポーツを支える人材」を育成する拠点にしていきたいと思えます。



女子短期大学部



しもつき会



ランチョンミーティング

10月13日のお昼休みにしもつき会ランチョンミーティングが開催されました。しもつき会は、作新短大の卒業生と教員で構成する同窓会です。当日は、しもつき会会員と短大教員、在学生30名ほどが一同に会しました。学長挨拶と教員から会の趣旨が説明された後、現職の保育園園長として活躍されている森山千枝子さん(3期生)からお話をいただきました。保育園の話や保育者の資質についてユーモアを交えながら語られ、和やかな時間となりました。在学生も先輩方の長年にわたる地域の保育への貢献、今も昔も変わらない当時の学生の姿に親しみを感じたことでしょうか。もちろん、食べ盛り彼女たち、先輩方が用意して下さったお昼にも大満足でした。

作大・作短公開講座

親子で楽しむ作短の図画工作講座
～つみ木で作る楽しい動物～

未就学児とその保護者・兄弟25名が、図画工作科目の教員である花田千絵先生の指導の下、木片を使った動物の世界を楽しみました。花田先生自身、木を素材としてダイナミックな動物の彫刻を制作する彫刻家でもあります。

子どもたちは、トヨタウッドユーホーム株式会社から提供された建築端材や花田先生が収集した木片から好きな物を選び、自由に貼り合わせ、絵の具で彩色していきます。



作新祭のご案内

【メインイベント】そのほかにも様々なイベントや18店の屋台が楽しめます。

チャリティーバザー	両日	10:00～19:00	第3教育棟 3101 教室
廃材アート	両日	10:00～19:00	第3教育棟 3202 教室
栃木SCプレゼンツ サッカー教室	11/8(土)	14:00～	グラウンド
アーティストライブ 藍坊主	11/8(土)	17:00～	野外ステージ
芸人 & 芸能人サッカーチームとの交流試合	11/9(日)	10:30～	グラウンド
ビンゴ大会	11/9(日)	13:10～13:45	野外ステージ
コスプレ大会	11/9(日)	参加者紹介 13:00～13:10 表彰式 15:45～16:00	野外ステージ
お笑いライブ バイきんぐ・コウメ太夫・ぶらっくさむらい	11/9(日)	12:00～	野外ステージ



女子短期大学部



グループワークキャンプ



10月24日、25日に短期大学1年生が恒例のグループワークキャンプを行いました。キャンプを通じて保育の現場で求められる協働作業のイロハを学ぶことを目的とし、学生たちは協調性や先を見通す力、キャンプの技術、生活力を確認することになります。キャンプらしい数々の野外活動プログラムの他、班旗コンテストやクラス企画など盛り沢山に進みました。自分たちらしさを存分に表現した出し物に達成感の表情があふれ、それはキャンプファイヤーで最高の気分になり上りました。普段とは違った野外での活動は、上手いかわいさもありませんが、学生たちは試行錯誤をくり返しながらも、協力してキャンプをやり遂げていました。



作新祭実行委員長 / 人間文化学部3年 大沢 有加さん

今年の作新祭は、「作新からのおもてなし～Project Earth～」をテーマに掲げています。今年はテーマをより重視して、エコやリサイクルを心がけています。たとえば、初めての試みとして廃材アートを展示したり、ビンゴ大会の景品をエコに関するものにしたりしました。また、25回目という節目に当たる今年は、その記念企画としてコスプレ大会を開催します。その他に、例年ご好評いただいているチャリティーバザーを今年も実施します。これらは、実行委員会のメンバーが企画し作大生たちが一生懸命に取り組んできたものです。さらに、RADIO BERRYさんのご協力のもと、アーティストライブやお笑いライブも予定しています。来場者の方々もおもてなしをする側もともに楽しめるような作新祭にしたいと思います。



(第1回)

トヨタウッドユーホーム株式会社
—VOL.1—トヨタウッドユーホーム株式会社
営業本部 宇都宮支店 分譲営業グループ 所属

五十嵐 涼太さん

今回は、トヨタウッドユーホーム株式会社（本社：宇都宮市一ノ沢町256-17）を訪ねました。取材に対応して下さった社員の方は五十嵐涼太さん。2013年の入社。現在は営業本部 宇都宮支店 分譲営業グループの所属です。実は、本学経営学部出身で高橋秀行先生のゼミに所属していました。五十嵐さんのご実家は、中学生の時にトヨタウッドユーホームで家を新築。その時に営業担当のNさんは、何度も家を訪ねて来ました。それから10年近くの月日が流れ、トヨタウッドユーホームに入社した五十嵐さんは、社内でもNさんと再会する事になるのです。中学生だった自分に、いつもやさしく声をかけてくれたNさんは、後輩となった今、五十嵐さんにとって「お手本」なのだそうです。家を売るということは、そこに住むご家族全員の幸せを考えることです。「この仕事では、ご家族全員とのコミュニケーションがとても大切です。」「お客様とお話する時には、普段話す時より声のトーンを上げたり、はっきりと発音するように心がけています。」という五十嵐さん。先輩たちの背中を追いながら、5年後の目標はの質問に「売上1位です!」と力強く答えてくれました。

取材後、ゼミ担当だった高橋秀行先生からコメントをいただきました。

「五十嵐君、お元気そうで何よりです。卒業して1年半ですが、スーツ姿も板についてすっかり社会人ですね。卒業製作で、プログラミングと格闘していた日々が懐かしく思い出されます。これから益々のご活躍をお祈りしています。」

経営学部
高橋 秀行 教授

公務員講座



作新学院大学では、今年度から公務員試験受験講座を開講し、公務員採用試験合格者の増加が期待されています。この講座は、警察・消防・刑務官・地方公務員（行政職）など、いわゆる公務員の試験対策に特化した講座で、学部生の場合は3年生の5月から基礎教養講座（全30回）を受講してその後は希望する職種ごとに専門的な受験対策講座（15〜30回）を受講していきます。講座が開かれていく教室は、学生たちのやる気

ここが違う! 作大の資格取得支援講座

- 1 大学卒業と将来に役立つ資格を“Wゲット!”**
大学の正課科目を履修しながら、資格取得にチャレンジすることができます。大卒資格を得ておくことは、その後の人生の様々な面においてプラスに!
- 2 受講料は無料!**
経済的な負担をかけずに資格取得にチャレンジできます!
※ただし、各講座で使用するテキスト・問題集・模擬試験等は自己負担となります。
- 3 資格取得に精通した講師陣による講座**
それぞれの資格試験の実情に精通し、専門学校等で受験指導経験のある講師が担当。資格試験に特化したムダのない授業によって最短ルートで合格に導きます。
- 4 1年生から受講可能**
1年生から受講できるため早期に資格を取得したり、複数の資格を在学中に取得したりすることも可能となり、就職活動で優位に立てます。
- 5 資格取得を卒業要件単位数に換算**
資格取得支援講座が合格目標とする各種試験に合格すると、卒業要件単位数に所定の単位数が加算されます。※ただし、加算される単位数は資格により異なり、上限あり。

満ちています。やはり将来の目標が定まっていると、勉強に取り組む姿勢も良くなってくるものです。

作新学院大学では、この公務員試験受験講座以外にも、日商簿記検定2級講座、税理士試験講座、基本情報技術者試験講座、国内旅行業務取扱管理者試験講座といった資格取得支援講座が開かれています。

これらの講座を本学では「学内ダブルスクール」と呼んでいます。作新学院大学・同女子短期大学部に在学中の学生なら、これらの資格取得支援講座を無料で受講できます（ただしテキスト代は実費負担となります）。くわしくは、キャリア・就職支援課（中央研究棟1階）まで。まず窓口へ行くことから始めてみましょう。あなたのキャリアは、そこから始まります。

キラッとキャンパス ～学生課情報～

無料貸出を利用してスポーツの秋を楽しもう!

中央研究棟1階に学生課があります。学内外の奨学金の手続きから学研災保険、落し物の保管、学割証や通学証明書の申請・発行まで。学生課では、作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部の学生が元気に楽しく、キラッと輝く豊かなキャンパスライフを過ごせるように、学生を生活面からサポートしています。

今回ご紹介するのは、課外活動用備品の貸出という制度です。学生課では、在学生を対象に昼休みや放課後等に（平日の9時〜17時）、バドミントン、テニス、卓球、バスケットボールやソ

フットボールなどの用具類を無料で貸し出しています。学生証を持って学生課窓口に来れば、簡単な手続きで借りる事が出来ます。

スポーツの秋です。友だちと一緒に体を動かしてみてもどうでしょう。ただし、周囲の安全とケガには十分注意して下さい。それから、借りた備品の管理と返却、施設をきれいに使用する事はこれから社会人になって行く学生の基本的なマナーです。

学生課は今日も、学生にとって居心地の良い大学づくりに全力で取り組んでいます。

地域協働広報センターがスタートして最初の「燦(KIRARI)」で、新たなスタッフがチームに加わり、紙面もリニューアルしました。情報発信に加えて、人と人をつなぐ広報活動にも力を入れて行きたいと思っています。



教職実践センター
教員への夢、応援します！

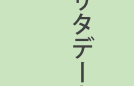
教職実践センターは、管理棟1階にあります。当センターは、大学・短大における教職課程の実践的研究の中心を担っています。その活動内容は主に四つあります。第一に、外部講師による教材研究や学習指導案に関する指導、第二に、外部講師による教員としての資質や教科などの講話、第三に、宇都宮大学教育学部附属小・中・特別支援学校や近隣の小中学校で実施される研究会への参加、第四に、採用試験対策講座の実施になります。

副センター長の九津見幸男先生に当センターのアピールポイントをお伺いしたところ、「センターには、関東地区の教員採用試験の過去問題や免許に関する小・中・高の教科書、教員用指導書が揃っています。また、理科の実験器具や習字の練習用の黒板、小学校1～6年生のノートやドリルなどもあります。これだけ資料や教員が揃っているところはあまりないと思います。ぜひ1年生のときからセン

ターに来てください。」とおっしゃっていました。

また、当センターをよく利用している人間文化学部発達教育専攻3年生の大島ひろみさん、小田哲平さん、小野田征弘さん、金田拓也さん、坂本正輝さん、佐々木慎一郎さん、福田遥さんは、口を揃えて「センターの一番の魅力は、九津見先生。」と断言します。先生の魅力として、「教員採用試験の相談に乗ってください。」(福田さん)、「足りない資料を揃えてください。」(小野田さん)などの声が聞かれました。そして、当センターの二番目の魅力は、教員志望の学生たちが集まる場所であるため、情報交換や刺激を受けられることだそうです。3年生の皆さんは、「下級生の皆さん、特に2年生の方は、センターで実施している研究会や外部の小中学校への授業参観などにもっと積極的に参加してほしいと思います。」と話していました。

Event schedule

15 MON	6 SAT	2014 12 	19 WED	15 SAT	9・8 SUN SAT	1 SAT	2014 11 
研究会	大学 短大		研究会	大学 短大	大学 短大	大学 短大	
第10回 栃木モデル研究会	サタデー キャンパス	31 WED 大晦日	第9回 栃木モデル研究会	サタデー キャンパス	第25回 作新祭	サタデー キャンパス	23 SUN 勤労感謝の日
		25 THU クリスマス					16 SUN 宇都宮マラソン
		23 TUE 天皇誕生日					3 MON 文化の日
							

EDITORIAL NOTE

地域協働広報センターがスタートして最初の「燦(KIRARI)」です。新たなスタッフがチームに加わり、紙面もリニューアルしました。情報発信に加えて、人と人をつなぐ広報活動にも力を入れて行きたいと思っています。

